

当院にて顎変形症の診断および治療を受けられた患者様へ

この度東京歯科大学千葉病院において下記の内容について研究を行うこととなりました。内容をお読みになり、ご理解いただけましたら、研究にご協力くださいますようお願いいたします。

「顎変形症患者における顎矯正治療前後の顎関節の変化についての検討」

1. 〔研究の目的〕

患者様の初診時の骨格形態と顎関節の病態について、顎矯正治療の前後での状態を比較し、診療記録に記載されている顎関節症状と画像診断の資料を集計することにより、顎変形症の骨格形態と顎関節病態について統計学的な検討を行い、顎変形症における顎関節の病態の解明と治療に反映させることを目的とします。歯科医療の発展のために本研究にご協力頂けるようお願い致します。

2. 〔対象となる患者様〕

東京歯科大学千葉病院口腔外科において、2005年4月1日から2017年6月30日の間に顎変形症と診断され治療へのご承諾をいただいた患者様のうち、X線CT、MRの画像検査を行った方を対象として総数100名を予定しております。

3. 〔研究協力をお願い〕

ご協力頂けるかどうかは患者様の自主性に基づいた自由意志で決定されます。

治療のために採取した資料を使用されたくない方は、遠慮なくお申し出ください。

また、研究への協力をお断りになったとしても診療に際して不利益を被ることは一切ございません。

4. 〔成果の公表とプライバシーの保護〕

歯科臨床および歯科医学研究への寄与を目的として、本研究の成果を学会、論文等で公表することがあります。その場合には、患者様のプライバシーや個人情報が漏出しないように、個人が特定されない形でデータ管理を行います。

本研究においては、診療記録と画像診断の資料（X線写真、MR画像、X線CT）を用いて行い、患者様の氏名や顔写真・口腔内写真を使用することはございません。

5. 〔研究の倫理審査〕

本研究は東京歯科大学倫理審査委員会の審査を経て、学長の承認を得ております。

6. 〔質問等〕

本研究にご質問やご意見のある方は下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先

東京歯科大学千葉病院口腔外科

研究責任者 口腔外科部長 柴原孝彦

研究者 高木多加志

山田 祥

連絡先 043-270-3901